

■学校教育法施行規則第百六十五条の二第一項により定める方針

■卒業に認定に関する方針【ディプロマ・ポリシー】

### 教育学部（教員養成課程、教育支援専門職養成課程）

愛知教育大学は、広域の拠点的作用をはたす教育大学として、人間理解と真理探究に努め、教育が直面する現代的課題への対応力を有し、子どもたちの未来を拓くことができる豊かな人間性と確かな実践力を身につけた専門職業人の養成を使命としています。そこで、規定の年限在学し、以下のような資質・能力を身に付けるとともに、所定の単位を取得した人に学士（教育学）の学位を授与します。

#### ◆教員養成課程

◎教員として求められる基本的な資質・能力と実践的指導力

- ・初等教員養成課程では、子ども理解に基づいて、生活指導や学級経営、学習指導、保育を適切に行うことができる力
- ・中等教員養成課程では、綿密な教材研究に基づく的確な学習指導と、子ども理解に基づく適切な生徒指導を行うことができる力
- ・特別支援教員養成課程では、多様な障がいのある子どもの状態と教育的ニーズを把握し、生活指導や学習指導、自立活動等の指導及び支援を適切に行うことができる力
- ・養護教諭養成課程では、学校におけるすべての教育活動を通して、健康教育と健康管理を適切に行い、子どもの発育・発達への支援に向けてコーディネートすることができる力

◎同僚、保護者や地域社会等と連携し協働しようとする態度

◎自己を振り返り、絶えず向上心をもって学び続ける姿勢

#### ◆教育支援専門職養成課程

◎教育を支える専門職として求められる基本的な資質・能力と実践力

- ・子ども、保護者及び教員が抱える問題に、幅広い教養と市民感覚にもとづいて柔軟に対応することができる力
- ・専門職としての知識・技能をいかして、諸課題に取り組むことができる力

◎同僚、保護者や地域社会等と連携し協働しようとする態度

◎自己を振り返り、絶えず向上心をもって学び続ける姿勢

### 大学院教育学研究科 修士課程

愛知教育大学は、広域の拠点的作用をはたす教育大学として、人間理解と真理探究に努め、教育が直面する現代的課題への対応力を有し、子どもたちの未来を拓くことができる豊かな人間性と確かな実践力を身につけた専門職業人の養成を使命としています。

教育学研究科修士課程では、規定の年限在学し、かつ、所定の単位を修得し、以下のような資質や能力を獲得するとともに、必要な研究指導を受けて修士論文を作成し、修士論文の審査及び最終試験に合格した人に「修士（教育学）」の学位を授与します。

◎子どもに関する基礎的知識や指導技術に加え、専門に関する高度な知識を有し、思考力・判断力・表現力等を育成する高度な実践力

◎広い視野を持ち、社会の変化に伴って生じる現代的な課題に柔軟に対応できる力

◎学校教育に関わる理論的な研究及び人間・社会・自然・芸術の分野において基礎的研究を遂行する力

## 大学院教育実践研究科 教職大学院の課程

愛知教育大学は、広域の拠点的役割をはたす教育大学として、人間理解と真理探究に努め、教育が直面する現代的課題への対応力を有し、子どもたちの未来を拓くことができる豊かな人間性と確かな実践力を身につけた専門職業人の養成を使命としています。

教育実践研究科（教職大学院）では、規定の年限在学し、かつ、所定の単位を修得し、以下のよつな資質や能力を獲得するとともに、必要な指導を受けて課題実践報告又は実習ポートフォリオ報告を作成し、その審査に合格した人に「教職修士（専門職）」の学位を授与します。

- ◎理論と実践を往還させ、新たな学びをデザインすることができる力
- ◎広い視野を持ち、社会の変化に伴って生じる現代的な課題に柔軟に対応できる力
- ◎高度な専門性を有し、幅広い分野で指導性を発揮することができる力
- ◎組織の一員として協働関係を構築し、地域社会等との連携を円滑に進めるためのマネジメント力

## 大学院教育学研究科 後期3年博士課程

共同教科開発学専攻は、学校教育が抱える複雑化し、多様化した諸問題に対応した高度な教科学と教育環境学を融合した教科開発学を学び、学位取得後に国公立大学の教員養成系の学士課程、教職大学院を含む大学院課程等の高等教育機関において、自立した教科開発学分野の教育者及び研究者として、高度な資質を持った教員養成を行うことのできる者を育成することを目的としています。

本共同専攻では、規定の年限在学し、かつ、所定の単位を修得し、以下のような能力を獲得するとともに、指導教員の指導の下で必要な研究指導を受けて学位論文を作成し、学位論文の審査及び当該論文を中心とした最終試験に合格した者に「博士（教育学）」の学位を授与します。

- ◎教育事象の因果関係を把握する能力を身につけ、教科との関わりの中で学校教育が抱える諸問題に自立して対応し得る研究能力
- ◎学術的な専門的知見を教科内容として構成できる能力を身につけ、教育論、教科内容の構成原理や教育方法、教材を開発する能力
- ◎理論と実践の検証能力を身につけ、学校教育の実践を理論化し、その理論を実践に活かす能力

なお、学位論文の審査にあたっては、客観性及び厳格性を確保するため、「学位論文審査基準」を定めており、学位論文はこの基準を満たすものであることが求められます。